

石巻赤十字病院の臨床研修

2012.1.23



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

石巻赤十字病院
副院長 金田 巖

本日の内容

1. 石巻赤十字病院の概要
2. 戦略的な病院経営と人材育成
3. 研修医の確保と育成
4. 東日本大震災と研修医
5. 震災後の当院の果たすべき責務

本日の内容

1. 石巻赤十字病院の概要
2. 戦略的な病院経営と人材育成
3. 研修医の確保と育成
4. 東日本大震災と研修医
5. 震災後の当院の果たすべき責務

石巻赤十字病院はここに 있습니다



震災前の市街地



石巻市街地

石巻北部バイパス
(国道 398号線:女川方面)

旧北上川

国道45号線

← 南三陸・気仙沼 三陸自動車道 松島・仙台 →

石巻赤十字病院の概要

■ 宮城県沿岸北東部の中核病院

■ 26診療科

■ 402床(2012.3.1から452床)

■ 職員数(2012.1.1現在)

医師:113人

看護師:514人

コメディカル:134人

その他:191人

■ 患者数／日(2011.12)

入院:392.7人

外来:1230.2人

■ 災害拠点病院

■ 救命救急センター

■ 2006年5月 移転新築

集学的な医療体制

(2012年1月1日現在)

○病床数 402床(一般398床、感染4床)

○診療科 26科目 ○医師113名

内科系		外科系					
消化器内科	7名	一般外科	11名	救急科	5名	泌尿器科	2名
呼吸器内科	4名	呼吸器外科	2名	産婦人科	3名	放射線診断科	2名
循環器内科	4名	心臓血管外科	2名	小児科	6名	放射線治療科	1名
神経内科	1名	脳神経外科	3名	麻酔科	4名	緩和医療科	2名
腎臓内科	4名	乳腺外科	2名	耳鼻咽喉科	2名	病理	1名
血液内科	2名	整形外科	4名	皮膚科	2名		
内分泌・代謝	2名	形成外科	2名	眼科	2名		
後期研修医	4名	後期研修医	3名	後期研修医	4名	初期研修医	20名

○チーム医療を実践する豊富なコメディカル

薬剤師	21名	管理栄養士	5名	診療放射線技師	28名
臨床検査技師	34名	臨床工学技士	25名	理学療法士	11名
作業療法士	5名	言語聴覚士	2名	視能訓練士	3名
臨床心理士	2名	保健師4名、助産師27名、看護師473名、准看護師10名			

本日の内容

1. 石巻赤十字病院の概要
2. 戦略的な病院経営と人材育成
3. 研修医の確保と育成
4. 東日本大震災と研修医
5. 震災後の当院の果たすべき責務

**新築移転後(2006年)
「戦略的な」病院経営に着手**

要点は環境変化への適応

病院全体の改善活動

- 病院全体の活動の一環として臨床研修がある。
- 病院全体の活動を活性化する必要がある。
- 新築移転後、方法論の模索を始めた。

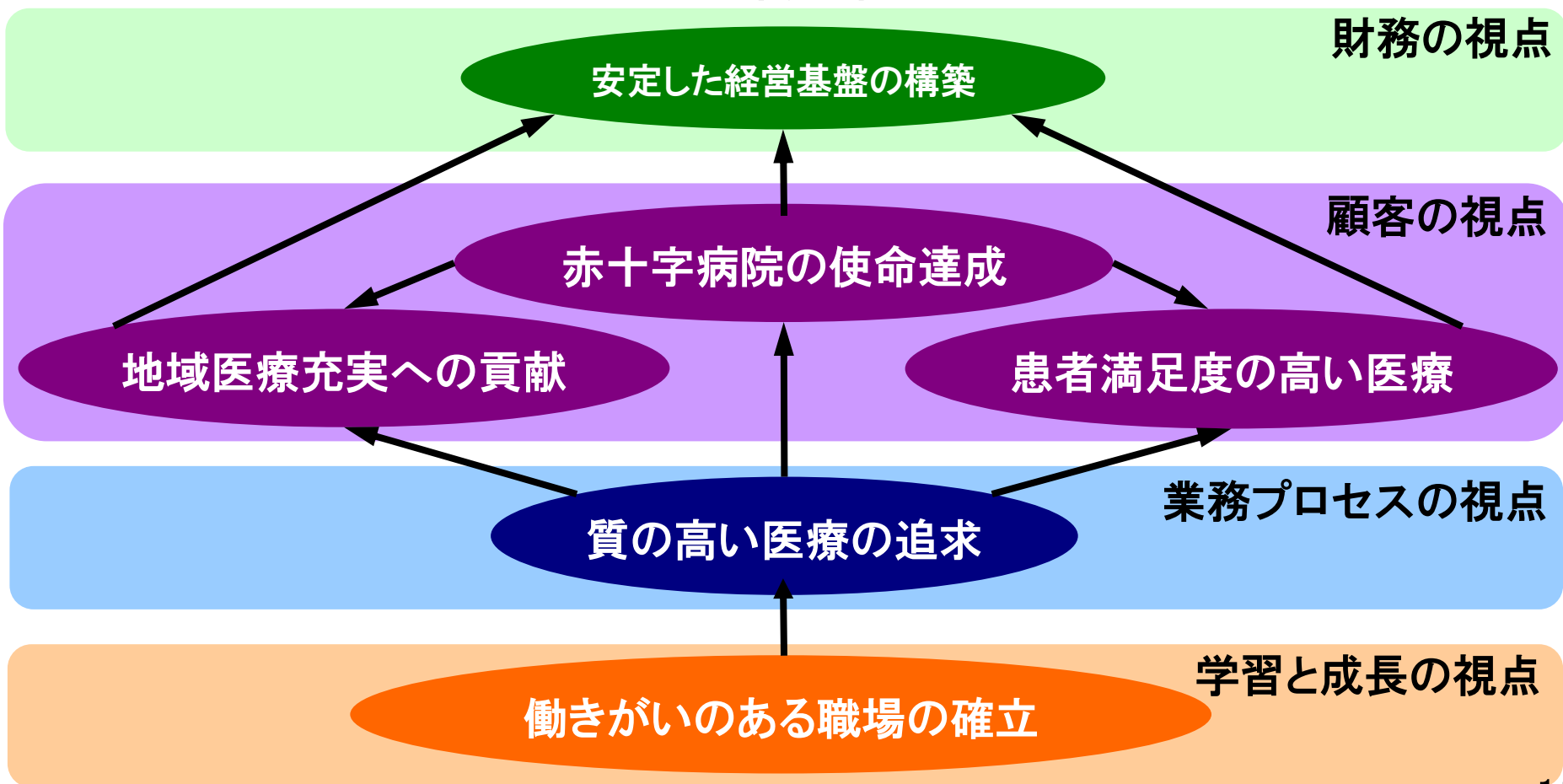
【基本理念】

赤十字精神をもって医療を行います —Hospital Mission—

地域から信頼される病院を目指します —Hospital Vision—

皆さまと私たちの満足を大切にします —Hospital Value—

【基本方針】



中期計画2007（3年後の病院像）

『石巻医療圏で唯一の急性期病院』
“Only One”

断らない救急

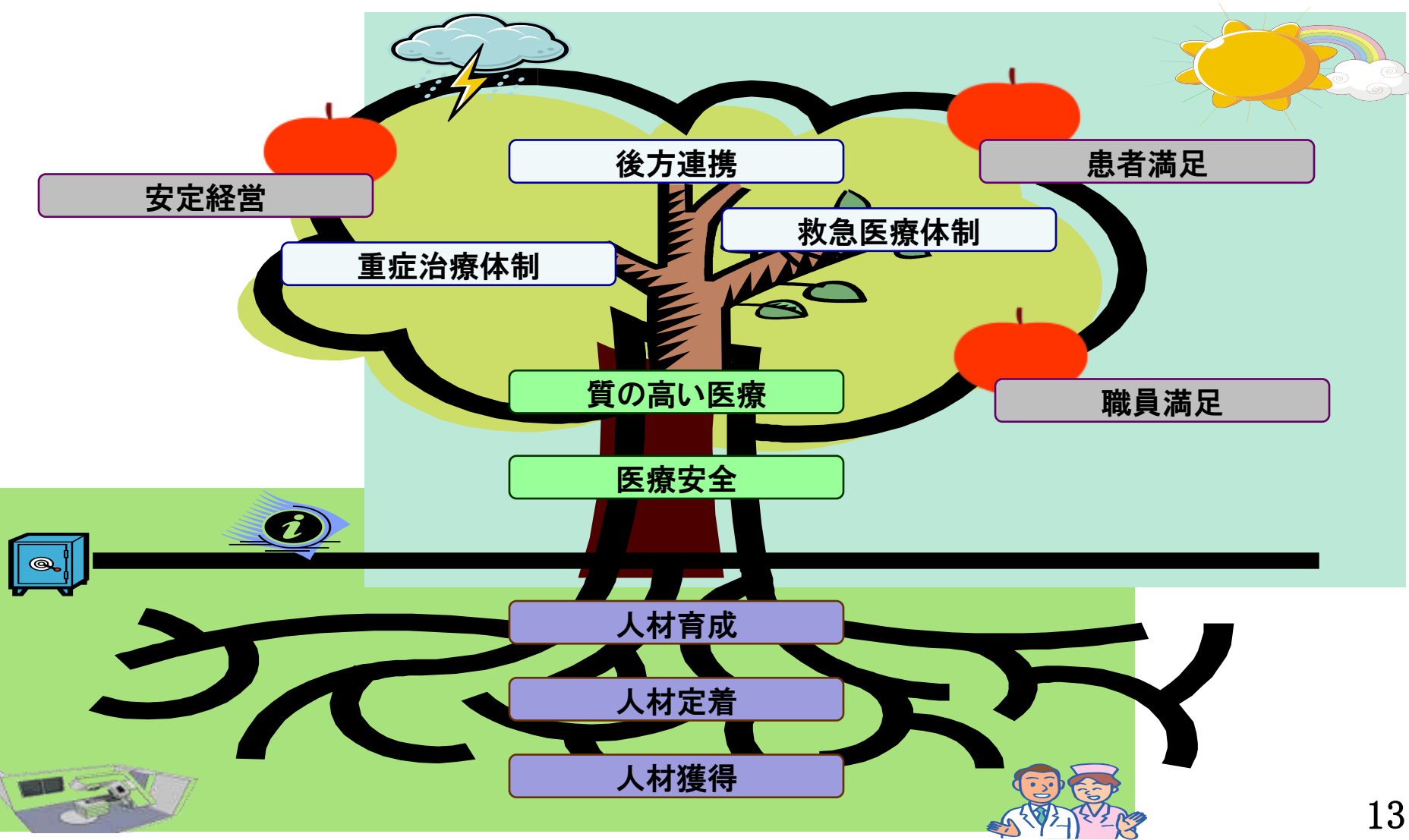


患者志向の切れ目のない連携

中期計画2010（3年後の病院像）

『東北一活気ある病院を目指す』

～ 県北東部の急性期医療を担い、地域のネットワークに貢献する病院～
～ 優れた医療人をひきつけ、成長させ、働いて良かったと思える病院～



人材の確保と育成(人材の獲得)

1. 重点分野の医師の増員
2. 後期研修医の増員
3. 5対1を見据えた看護師の増員
4. 生理検査、ME、薬剤師、リハビリなどの重点分野のコメディカルの増員

人材の確保と育成(人材の教育)

■ 教育対象

医師、看護師、コメディカル、事務職等全職員

■ 教育方法

- ① On the job training
- ② QC等の部門別・組織横断的活動
- ③ 講演会
- ④ 内地留学制度

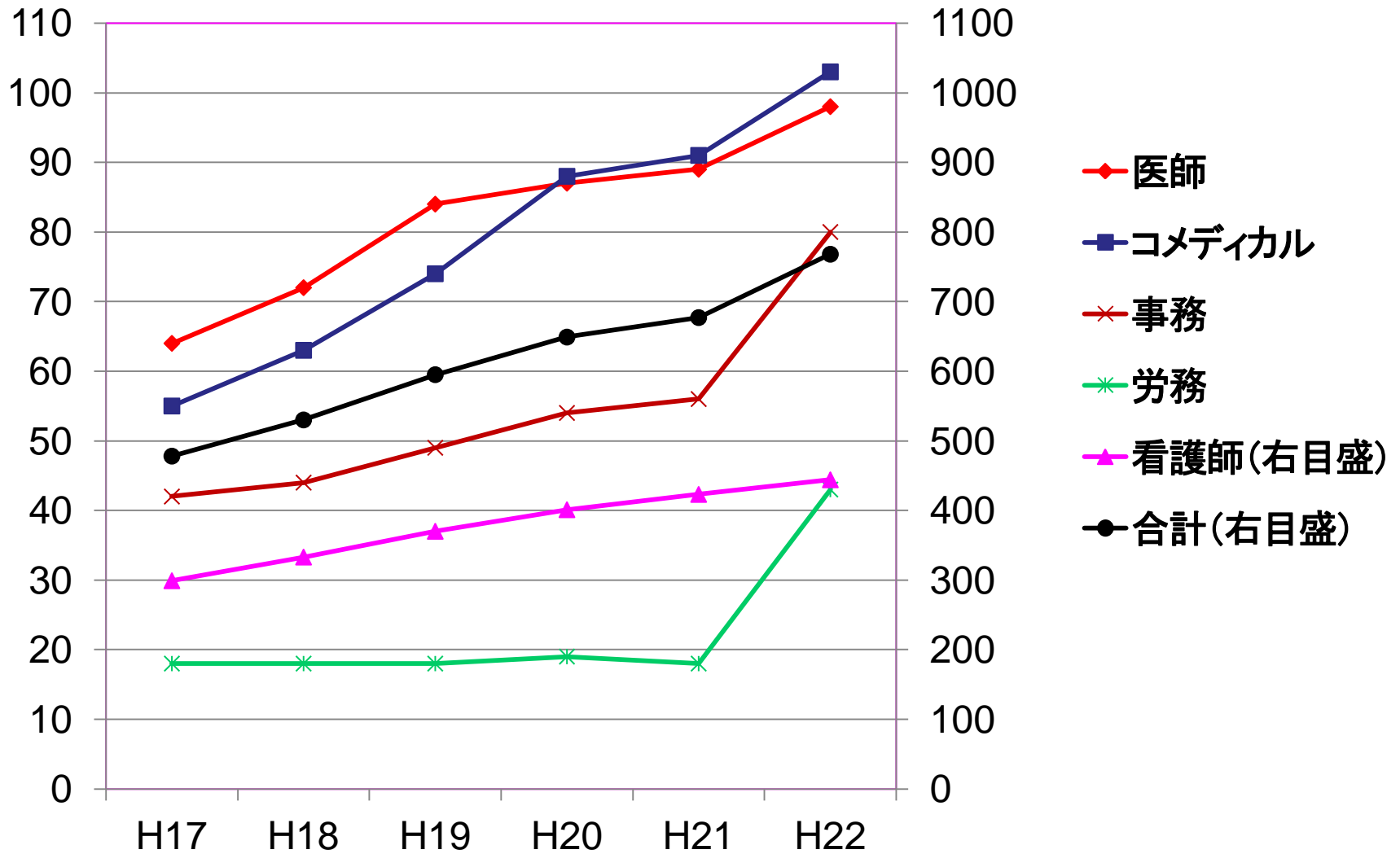
■ 教育効果

- ① 評価(指標/指数)
- ② Feed back
- ③ 報償

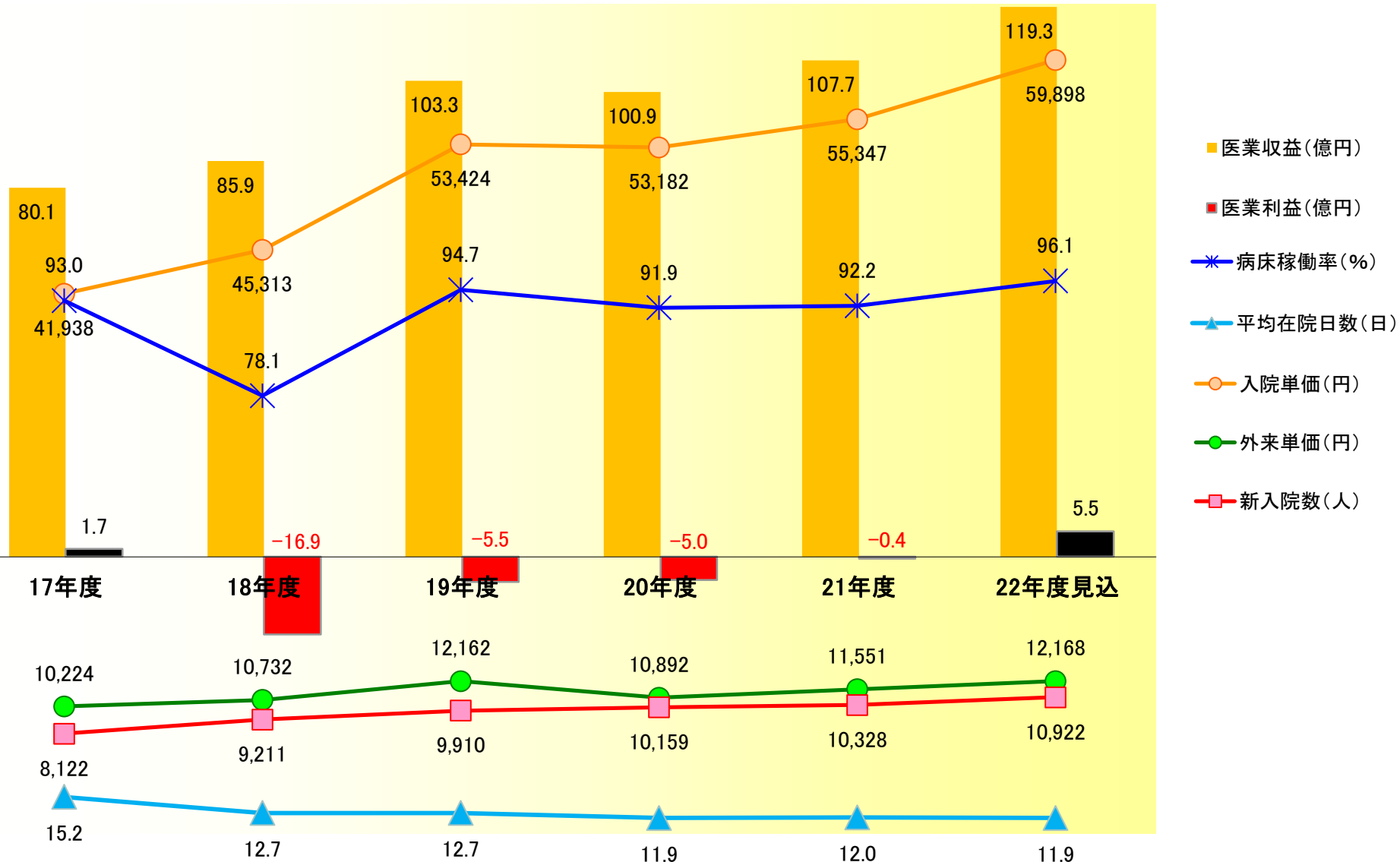
人材の確保と育成(福利厚生)

1. 育児支援(保育所の整備:2010年10月)
2. 時間外勤務の適正化
3. 当直ではない交代制勤務の早期実現
 - ①医師:夜間4名、土・日・休日6名
 - ②看護師
 - ③薬剤師、放射線技師、検査技師、臨床工学技士

職種別職員数



主要病院経営指標の年推移



本日の内容

1. 石巻赤十字病院の概要
2. 戦略的な病院経営と人材育成
- 3. 研修医の確保と育成**
4. 東日本大震災と研修医
5. 震災後の当院の果たすべき責務

必修化の影響

東北大学の関連病院

- 初期研修に30年の実績
- 内科・外科のストレート研修で毎年4～5名を受入



臨床研修病院指定(平成12年3月)



臨床研修必修化(平成16年)

- 病院説明会に参加しても人気がない
- 応募者も10名に満たず

フルマツチへの取り組み

1. 研修内容の充実
2. 全国の医学生に積極的にアピール
3. 処遇の改善
4. 研修医の参画

研修内容の充実

☆研修医が求める魅力あるプログラム

- ①自由度のあるプログラム:2年次自由選択8.5ヶ月
- ②院外研修
 - 浦添総合病院(沖縄県)で救急科研修
 - 東北大学病院で放射線治療科研修
- ③研修会
 - オリエンテーション
 - 研修医セミナー
 - 外部講師による講演会・勉強会
 - 症例発表会
- ④指導医講習会の受講を奨励
 - 指導医60人中31人受講済み(H23.10月1日現在)
- ⑤屋根瓦式の指導体制
 - 先輩医師が後輩医師を指導

研修スケジュール(例)

1年次

内科 (消化器、呼吸器、循環器、血液、腎臓) 6ヶ月	外科(麻酔科含む) 4ヶ月	※ 救急 2ヶ月
---	-------------------------	------------------------------

※当直1ヶ月分を振替え

2年次

1 地域医療 1ヶ月	産婦人科 1ヶ月	小児科 1ヶ月	2 精神科 0.5ヶ月	3 自由選択 8.5ヶ月
--------------------------------	--------------------	-------------------	---------------------------------	----------------------------------

1: 石巻ロイヤル病院、当院救急科

2: 精神科:こだまホスピタル(石巻市)で0.5ヶ月(2週間)

3: 自由選択

希望により浦添総合病院(沖縄県)で救急科研修、東北大学病院で放射線治療の研修も可能

浦添総合病院(沖縄)で救急研修

- 2011年度は、2年次全員が浦添総合病院で研修します
- 全国の有名病院とのネットワーク作りを進めています
- 後期研修では国内留学も積極的に推奨しています



充実したローテーション研修

ERアップデート in 沖縄



著名な先生方を招いた講義



齋藤 学先生



徳田 安春先生



吉野俊平先生



宮城征四郎先生



寺澤秀一先生



久志本 成樹先生

指導医講習会

☆今年度は31名が参加予定



広報活動

☆「石巻赤十字病院」の名前を認知させる

☆ 臨床研修のアピールポイントを広く知らせる

《広報ツール》

①病院ホームページ

②病院説明会・レジナビ

③病院見学

ホームページ

24時間、365日、全国の医学生に情報発信

1. 医学生が好意を抱くデザイン

- 病院のイメージアップ

2. 医学生が最も興味を示すものを掲載

- プログラムの特徴

- 指導体制

3. 医学生が必要とする情報の提供

- 診療実績、住環境、処遇など

病院説明会・レジナビ

☆研修の質を高めるため全国から公募

①積極的に参加

- 東北大学関連病院説明会2回
- 東北ブロック病院説明会(東北厚生局1回)
- レジナビ(東京・大阪・福岡各1回)

②研修医が説明

- 学生が一番聞きたいのは研修医の生の声
- 説明用スライド
- 指導医は補足説明

③ブースは明るく

- ポスター
- 若い女性職員を参加させるのも効果的

④他病院の情報収集



病院見学

☆研修医を見て・聞いて研修内容を実感してもらう

①HP申込フォームによる見学手続きの簡素化

②親切丁寧な対応

○連絡・問い合わせの迅速対応

○JR利用者の送迎

○当日リクエストにも臨機応変に対応

○見学後にお礼のメール

③交通費支給

○支給基準作成

④医学生との交流

○臨床研修管理委員長との昼食

○研修医との夕食会

○来院時と帰院時の声掛け(事務)

○見学の感想とアンケート

処遇改善

☆労働環境と研修環境の整備

①給与の見直し(県内で中の上)に設定)

○1年次 40万円/月、賞与67万円

○2年次 45万円/月、賞与99万円

②ONとOFFのメリハリある研修

○宿直明けは振り替え休日(勤務表作成)

○PHSフリー(各科ルール)

○夏と冬の長期休暇(各科ルール)

③研修医仮眠室設置

④研修用備品(毎年予算化)

○図書

○シミュレーター

研修医の参画

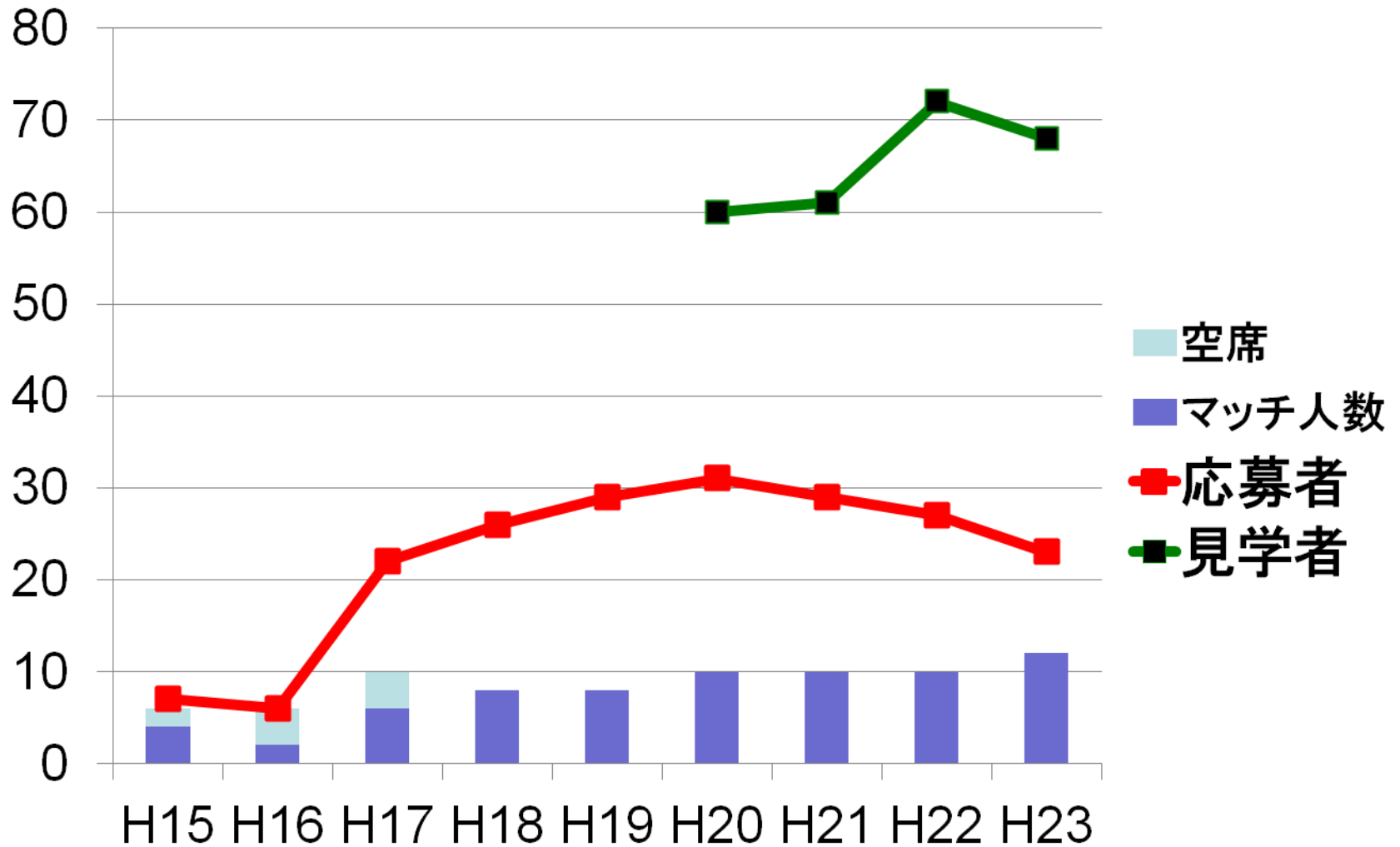
臨床研修に研修医の意見を反映させる

- ①研修プログラム
- ②募集定員の設定
- ③研修環境の整備
- ④指導医の評価
- ⑤病院説明会・病院見学
- ⑥マッチングの面接評価



- ☆魅力的な研修体制の構築
- ☆研修医のモチベーション向上

6年連続フルマッチ



本日の内容

1. 石巻赤十字病院の概要
2. 戦略的な病院経営と人材育成
3. 研修医の確保と育成
- 4. 東日本大震災と研修医**
5. 震災後の当院の果たすべき責務

2011年3月11日 14:46

東日本大震災 発災

大地震に対する備え(ハード)

■免震構造

地震の水平エネルギーを免震層で吸収する

■敷地の土盛り

過去の旧北上川の氾濫水位より高くした

■2重化電源(受電)

受電本線が停電しても予備電源で受電可能

■非常用発電機

3日分の燃料2万ℓを確保

■衛生設備

上水と雑用水による2系統給水による危険分散

■上水備蓄:190t(半日分)

■雑用水備蓄:470t(3日分)

■空調設備

非常用電源による最低限必要な空調の確保

■食糧

入院患者用3日分



免震装置



貯水槽

大地震に対する備え(ソフト)

■使える災害対策マニュアル

- ・担当者を実名で標記
- ・見やすい、読みやすい、探しやすい

■マニュアル検証のため実践的な訓練

- ・大規模地震災害実動訓練(年1回)
- ・多数負傷者受入れ訓練(2010年6月6日)

■全職員が災害に取り組むための研修会

- ・年間計画で体系化された訓練と研修
- ・派遣職員も含めた全員を対象

■顔の見える関係を構築

- ・関係機関との災害協議会
- ・民間との応援協定締結

職員の災害に対する高い意識



研修医も訓練に参加



航空自衛隊松島基地

医療機関の多くが診療不能に陥る

発災直後の医療情勢

急性期

亜急性期・回復期

療養期



石巻赤十字病院:
402床



石巻市立病院:206床



仙石病院:120床



女川町立病院:98床

斉藤病院:142床

石巻港湾病院:135床

真壁病院:131床



市立雄勝病院:42床



市立牡鹿病院:40床

石巻ロイヤル病院:42床

多数の患者が押し寄せる



研修医の活動

勤務:ローテート科+赤ブース/救急科入院(3交代制)

- とにかくがむしゃらに患者さんを診察した
- この1年間で関わってきた患者さんも搬送させてきた
- 食事も睡眠もとれなかったが気合いで乗り切った



身体的・精神的ストレス(いつまで続くのだろうか・・・)



外部からの支援が本当に心強かった







この経験で研修医が考えたこと

- この病院が石巻圏内の医療の復興の中心になる
- その中で、
研修医として日々の診療を精一杯行っていく
- そして、
この経験を今後の医師人生に活かす
次に災害が起こったときには、必ず恩返しをする

本日の内容

1. 石巻赤十字病院の概要
2. 戦略的な病院経営と人材育成
3. 研修医の確保と育成
4. 東日本大震災と研修医
5. 震災後の当院の果たすべき責務

石巻赤十字病院の責務

➤ 短期的責務：失われた急性期病床の確保

仮設病棟を建設中

➤ 中長期的責務：

1. マグネットホスピタルとしての医師の確保・育成
2. 地域の実情に応じた救急・重症者診療体制の充実
3. 各種の拠点病院としての役割
4. 重症者治療・救急医療のための医療機能の強化

救命救急センター拡充、ICU/HCU設置、増床

5. その他

- ①看護学校の再建
- ②研修・交流の場の整備

災害研修センターの設置

復興のための新たな挑戦！ 拡張プロジェクト



病院に隣接した
新しいインターチェンジが設置されます

今後の目標

	現在	3年後	6年後
平均在院日数	11日	10日	8日
職員数	906人	1,100人	1,200人
医師数	113人	150人	180人
看護師数	485人	580人	650人
新入院数／月	1,000人	1,250人	1,400人



そのためにも臨床研修をさらに充実させる



「ご清聴ありがとうございました。」
今後とも「支援よろしく」お願いいたします。